



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所 東
コード番号 8138 URL <https://www.sankyokasei-corp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大槻一博 (TEL) 06-6271-1881
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,689	0.1	113	△25.4	180	△21.6	117	△13.6
2023年3月期第2四半期	12,681	12.0	151	122.4	230	65.4	136	74.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 509百万円(73.2%) 2023年3月期第2四半期 293百万円(212.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	88.18	—
2023年3月期第2四半期	102.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,515	9,760	55.7
2023年3月期	16,404	9,315	56.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,758百万円 2023年3月期 9,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	42.50	—	47.50	90.00
2024年3月期	—	45.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	△0.9	300	△11.8	410	△13.1	260	△14.4	194.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,560,000株	2023年3月期	1,560,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	226,009株	2023年3月期	225,887株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,334,044株	2023年3月期2Q	1,334,437株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍による活動規制からの本格的な緩和により緩やかな回復基調ながら、資源、原材料価格高の長期化並びに物価高などの下押し圧力があり弱含みで推移しました。

このような状況の下、当社グループにおいては、原材料価格の高騰に伴う販売価格改定並びに国内外の新たな機能性商材の取引拡大に引き続き注力いたしました。

また、コロナ禍による社会活動規制からの緩和が徐々に進むなかで経費支出の効率化に努め、収益の確保を図りました。

これらの結果、売上高は126億8千9百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は1億1千3百万円（前年同期比25.4%減）、経常利益は1億8千万円（前年同期比21.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1千7百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

[科学事業]

<土木・建材資材関連分野>

土木関連分野では、道路舗装用改質剤は増加しましたが、地盤改良及び環境負荷軽減セメント用並びにコンクリート二次製品用の添加剤が減少し減収となりました。

建材資材関連分野では、建材ボード用薬剤が大幅に伸長しましたが、発泡断熱システム用輸入難燃剤や各種添加剤が低迷し減収となりました。

<情報・輸送機器関連分野>

情報関連分野では、LED関連材料並びに電池関連材料の低迷はありましたが、ディスプレイ用材料と半導体関連材料の伸長があり前年並みで推移しました。

輸送機器関連分野では、車両用成型品の減少により減収となりました。

<日用品関連分野>

日用品関連分野では、プラスチックレンズ関連材料の減少はありましたが、清掃用品材料の伸長により増収となりました。

フィルム関連分野では、生鮮野菜、チルド食品及び冷凍食品用包装フィルムの販売が引き続き伸長し増収となりました。

<化学工業関連分野>

繊維関連分野では、工業繊維用薬剤の減少により減収となりました。

化学工業関連分野では、工業用成型材料の一部及び樹脂合成用輸入化学品の減少があり大幅な減収となりました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は103億6千2百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は2億円（前年同期比6.3%減）となりました。

[建装材事業]

住宅用部材関連のコロナ禍からの需要持ち直しなどにより、造作部材、建具、キッチン関連が伸長し、成形用樹脂の新規採用もあり増収となりました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は23億2千6百万円（前年同期比7.8%増）となりましたが、収益面では品種構成の悪化があり、営業利益は2千6百万円（前年同期比35.5%減）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、5億3千9百万円増加し114億7千万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億3千6百万円、電子記録債権が2億1千6百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億8千6百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、5億7千万円増加し60億4千5百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が5億9千9百万円増加し、有形固定資産が1千6百万円、無形固定資産が1千1百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて、11億1千万円増加し175億1千5百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ、5億1千2百万円増加し67億3千7百万円となりました。これは主に、買掛金が3億2千5百万円、電子記録債務が2億5千9百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、1億5千3百万円増加し10億1千6百万円となりました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債が1億4千7百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、6億6千5百万円増加し77億5千4百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、4億4千5百万円増加し97億6千万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3億4千4百万円、利益剰余金が5千4百万円、為替換算調整勘定が4千9百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、23億8千8百万円となり、前年同四半期連結累計期間に比べ12億6千8百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は8億9千1百万円（前年同四半期連結累計期間は4千9百万円の増加）となりました。これは主に、仕入債務の増加5億7千3百万円、売上債権の減少2億8千5百万円、税金等調整前四半期純利益1億9千4百万円などの収入に対し、法人税等の支払額1億3百万円、その他の資産の増加6千8百万円などの支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は2百万円（前年同四半期連結累計期間は1億1千万円の減少）となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による1億1千8百万円、有形固定資産の売却による5百万円の収入に対し、投資有価証券の取得による1億1千4百万円、有形固定資産の取得による8百万円などの支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は8千5百万円（前年同四半期連結累計期間は4百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額6千3百万円、長期借入金の返済による1千2百万円、リース債務の返済による9百万円などの支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年5月10日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日公表の「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,591,297	2,428,082
受取手形及び売掛金	6,069,331	5,583,213
電子記録債権	2,088,109	2,304,296
有価証券	88,886	-
商品及び製品	889,003	884,091
仕掛品	27,727	25,369
原材料及び貯蔵品	66,928	67,002
その他	109,456	178,535
貸倒引当金	△79	-
流動資産合計	10,930,661	11,470,593
固定資産		
有形固定資産	1,812,507	1,795,705
無形固定資産	140,393	128,651
投資その他の資産		
投資有価証券	3,380,529	3,979,312
その他	141,094	141,847
貸倒引当金	△475	△475
投資その他の資産合計	3,521,148	4,120,685
固定資産合計	5,474,049	6,045,042
資産合計	16,404,710	17,515,635
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,052,111	4,377,382
電子記録債務	1,510,970	1,770,283
短期借入金	133,700	142,100
1年内返済予定の長期借入金	24,996	22,953
未払法人税等	114,143	84,957
賞与引当金	71,139	74,622
役員賞与引当金	17,805	10,900
その他	300,911	254,790
流動負債合計	6,225,777	6,737,989
固定負債		
長期借入金	10,455	-
役員退職慰労引当金	313,337	324,208
退職給付に係る負債	58,000	50,933
その他	481,368	641,633
固定負債合計	863,160	1,016,775
負債合計	7,088,937	7,754,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,456,843	1,456,843
利益剰余金	5,494,166	5,548,436
自己株式	△459,992	△460,578
株主資本合計	8,207,617	8,261,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	974,951	1,319,646
土地再評価差額金	35,521	35,521
為替換算調整勘定	92,441	141,799
その他の包括利益累計額合計	1,102,914	1,496,967
非支配株主持分	5,241	2,601
純資産合計	9,315,773	9,760,870
負債純資産合計	16,404,710	17,515,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	12,681,313	12,689,265
売上原価	11,529,352	11,532,751
売上総利益	1,151,961	1,156,514
販売費及び一般管理費	1,000,123	1,043,216
営業利益	151,837	113,298
営業外収益		
受取利息	4,379	4,657
受取配当金	52,171	53,773
持分法による投資利益	4,508	1,562
仕入割引	1,287	1,094
その他	19,060	14,970
営業外収益合計	81,407	76,058
営業外費用		
支払利息	116	3,490
その他	3,108	5,489
営業外費用合計	3,224	8,979
経常利益	230,019	180,376
特別利益		
固定資産売却益	-	1,241
投資有価証券売却益	-	12,517
特別利益合計	-	13,759
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	230,019	194,136
法人税、住民税及び事業税	96,919	79,384
法人税等合計	96,919	79,384
四半期純利益	133,100	114,751
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,129	△2,888
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,229	117,640

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	133,100	114,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80,375	344,694
為替換算調整勘定	64,899	38,924
持分法適用会社に対する持分相当額	15,454	10,683
その他の包括利益合計	160,729	394,302
四半期包括利益	293,829	509,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,715	511,694
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,885	△2,639

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	230,019	194,136
減価償却費	52,204	65,168
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△79
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,433	3,483
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,180	△6,905
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,094	△7,066
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,798	10,871
受取利息及び受取配当金	△56,550	△58,430
支払利息	116	3,490
持分法による投資損益 (△は益)	△4,508	△1,562
固定資産除売却損益 (△は益)	-	△1,241
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△12,517
売上債権の増減額 (△は増加)	264,363	285,294
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△62,774	12,570
その他の資産の増減額 (△は増加)	△165,058	△68,344
仕入債務の増減額 (△は減少)	△184,835	573,130
その他の負債の増減額 (△は減少)	△34,186	△23,126
未払消費税等の増減額 (△は減少)	30,421	△26,986
その他	△201	△2,812
小計	89,147	939,070
利息及び配当金の受取額	57,725	59,794
利息の支払額	△116	△3,490
法人税等の支払額	△97,391	△103,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,365	891,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,970	△8,157
有形固定資産の売却による収入	-	5,126
無形固定資産の取得による支出	△82,620	△3,690
投資有価証券の取得による支出	△14,377	△114,338
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	-	118,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,968	△2,801

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	72,800	-
長期借入金の返済による支出	△12,498	△12,498
リース債務の返済による支出	△7,512	△9,182
自己株式の取得による支出	△433	△586
配当金の支払額	△56,477	△63,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,121	△85,383
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,041	33,427
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,681	836,785
現金及び現金同等物の期首残高	1,147,110	1,551,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,119,428	2,388,082

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,523,009	2,158,303	12,681,313	—	12,681,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,523,009	2,158,303	12,681,313	—	12,681,313
セグメント利益	213,999	41,676	255,675	△103,838	151,837

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,362,667	2,326,598	12,689,265	—	12,689,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,362,667	2,326,598	12,689,265	—	12,689,265
セグメント利益	200,535	26,884	227,420	△114,122	113,298

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。